

菅田中学校だより

第8号 令和5年(2023) 11月30日
横浜市立菅田中学校

「互いを認め合い幸せをつくる」 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>

「師走」

副校長 谷澤 直人

前回、私が学校だよりの巻頭にコメントいたしましたのは第5号、夏休み明け8月28日の発行でした。あの頃は猛暑真っ只中。記録的な暑さが続き、熱中症等による体調管理が心配でしたが、あれから3ヶ月。明日からもう12月です。季節は大きく変わり、防寒着がなくては体調を崩してしまうような気候になりました。「スポーツの秋」、「読書の秋」、「食欲の秋」など「〇〇の秋」と題される、秋の涼しくて過ごしやすい気候が、なんだか短かったように感じています。

先日、「放課後学び舎」に参加しました。その日は3学年で10名ほどの生徒が主体的に学習に取り組んでいました。6校時まで学習した後、さらに1時間ほど集中して取り組んでいる姿に非常に感心しました。ここにはボランティアスタッフとして、主任児童委員の方が参加していただいています。生徒のことを教職員、保護者の皆様だけでなく、地域の方にも見守っていただいている、応援していただいていると思うととても心強いです。ありがとうございます!

さて、12月は全学年で三者面談があります。3年生は進路面談、いよいよ受験校の決定という人が多いと思います。受験勉強もラストスパートに入るとは思いますが、くれぐれも体調を崩さないようにしてください。1・2年生は夏の面談の頃からどんなに成長したことでしょう。担任の先生から、たくさんの成長を保護者の方に伝えてもらえるといいですね。

タイトルの「師走」ですが、辞書には『陰暦12月の異称。語源については、この月になると、家々で師(僧)を迎えて読経などの仏事を行うため、師が東西に忙しく走り回るため、「師馳(しは)せ月」といったのを誤ったものだとか、四時の果てる月だから「しはつ(四極)月」といったのが、「つ」と「す」の音通(おんつう)によって「しはす」となったのだとかの説が伝わる。このことばのもつ語感が、年の暮れの人事往来の慌ただしさと一致するためか、陽暦12月の異称としても親しまれ、習慣的に用いられている。』とあります。社会が年末の慌ただしく忙しい中、保護者の皆様、面談のご都合をつけていただきありがとうございます。日頃、お気づきのことがございましたら、ご遠慮なくお話しください。

寒さの折、生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様もどうぞご自愛ください。